

【市長と語る懇談会 記録】

開催日 平成 25 年 5 月 8 日 (水)
地区/会場 明倫小学校区
/1 階ワークスペース
参加者数 15 人



《質問・意見》

サンアリーナが出来て 20 年経ちますが、どのような活用を考えてみえますか。先日も伊勢レビューで笹森さんより、お話を聞かせていただきました。

スポーツ関係は充実していますが、芸術・音楽関係は弱く、サンアリーナを活用して何かできないかなと思います。市長のお考えを聞かせて下さい。

《回答》

芸術関係についてよくご意見いただきます。

今後、やってみたいことについて、直島という瀬戸内にある島で、アートフェスタをやっています。ベネッセさんの運営施設ですが、将来子供たちの為にどういったものを提供していけるのかということが大きな課題です。

幸い今は、遷宮関係で様々な芸術活動をされている方も多く来ていただいております、東京のオーケストラの楽団の指揮をされている方もご縁をいただいております。

遷宮を越えた段階で、それぞれの芸術を感じていただけることをしていきたいと思っています。

伊勢にはそれぞれの文化芸能活動があり、馬瀬の狂言、通・一色の能等、伊勢のオリジナリティのあるものを子供達に関心を持っていただけるような取り組みもしていきたいと思っています。

サンアリーナについて、三重県の指定管理施設として稼働率も良くなりました。

観光文化会館も指定管理施設として、実施事業の稼働も良くなり、伊勢の文化の発信について考えていきたいと思っています。

《質問・意見》

一風堂という九州のラーメン店が安濃の下り線のインターに店を設けています。社長が伊勢神宮を好きなので、そこに店を出したようです。

伊勢は伊勢神宮が基本ですから、利用しない手はないわけで、文化というなら、例えば劇団四季さん。浅利慶太さんは右翼の典型です。市長がお願いに行って伊勢の活性化の為に頑張って下さい、と言う位のアドバルーンを揚げないといけない。

小倉さん、伊勢高の後輩ですが、そういう人や直島も大阪の建築家 安藤さんがやっています。そういうプロデューサーが必要です。

プロデューサーをどこに頼みにいくか、どう広げていくか、戦略を考えてやるべきです。市長は根本だけ押さえておけばよい。根本を押さえて真剣に考えていただきたい。

《回答》

非常に大事なお話ですね。

大阪の安藤さんの作品が好きで、インターネットのツイッターで安藤さんの作品を伊勢の公共施設にとつぶやきましたら、公共施設にあんな使いにくい建物をと大バッシングを浴びました。知恵と戦略をきちんと持っていないと、アートを表現していくのはなかなか分かりにくい部分がありますので、この意見は参考にさせていただきたいと思います。

《質問・意見》

伊勢にはサンシャインさんもいます。あの人も上手に使って下さい。

《回答》

大活躍していただいていますね。インターネットやユーチューブで伊勢の宣伝をバンバンしていただいていますので、できるだけお金をかけずにやっていきたいと思います。

《質問・意見》

少子高齢化について、実際の少子についてはここには書かれていないが、全国的な問題だと思います。子供を増やすことによって色々な事が改善します。

保育園、小学校、産業等いろんな可能性が生まれます。

明倫地区においても高齢化による空洞化現象が問題になっています。

老人が亡くなると郊外へ出て行って、跡地は駐車場になるというケースです。

街づくりでも祭りのなもの等、町の資源をPRし、勉強・活動や集いを通じて、適齢期・・・30代未婚の人が非常に多いので・・・、出会いの場を設けることによって少子化に対応できます。

伊勢まつりも規模が大きくなりましたが、もう一度原点に戻り、小さな地域の出会いの場を広げていき、活性化を図っていきたい。これに絞って市長さんからご意見をいただきたい。

《回答》

少子化は大きな課題です。商工会議所で少子化について議論を重ねてきました。

一定の結論としては、安定して働く場所の創設が一番優先ということになりました。

その中で市の企業用地が七割弱売却でき、この3年で70~100名位の新規雇用が見込まれる予定です。

また県の企業用地の値段が高いので、値下げをして少しでも誘致をしていきたいと考えています。我々行政の役割とします方、優先していききたいと思っています。

この3年間の活動で、人口が減った場合、最低限やらなければならないことは何なのかという調査を徹底的にしました。

小学校の再編、行政コストがどのくらいかかるのか等、この段階のとき、最悪の場合に

しなければならぬ事へのバックデータが揃いました。

今後の生活の品質、暮らしの質を高める為の観点で、一番大事な事と思います。

住民懇談会や地域でのお話のときに、皇學館大学の施設の利用をお願いしています。

それぞれの歴史、文化等の地域資源の見直しについて、記憶が抜けていき、忘れられていくことへの危惧について、皇學館大学との連携をお願いしています。

《質問・意見》

観光で今、円安で外国人観光客が増加の傾向にあります。外国人観光客への助成、プレートの設置、サービス等を行うのであれば、おもてなし通訳、若い人の活用、いろいろと子育て等、そこから原点を戻して仕事を増やすべきではないですか。

出会い、定着していただくことを考えるべきで、仕事を増やすなら伊勢の観光資源に見合った仕事を増やすことを考えるべきです。

伊勢の観光資源を活かした仕事、方向的にはハード面は市長さん考えてみえますが、ソフト面、伊勢の知名度をうまく使い、若者を上手く使って仕事ができるようにお願いしたい。

他の土地の人にとってはすごくうらやましい財産を持っている。そのソフトを活用して、生きがい、やりがいを感じ仕事ができる方向へお願いしたい。

《回答》

わかりました。ありがとうございます。貴重なご意見をいただきました。

《質問・意見》

勢田川が、きれいになってきたが、地域あるいは市民に親しまれるような川にできないか。その為には、キャッチフレーズが必要。鮎を勢田川に戻そう、蛍とか。蛍を単に放すのではなくて、蛍が生息できる環境とはどういうものか考えて、蛍虐待ではなくそういう環境を作るためにはどうするのか。

あるいはテレビで見ましたが、鳥が卵を産めるような浮島を作る。そういったアイデア、夢があるようなことをやっていただいて、虐待にならず人間だけではなく、生き物にもいい。そういう発想で、勢田川を材料にしてやっていただきたい。

《回答》

今、勢田川のクリーンアップ事業をやっており、毎年の大掃除でたくさんの方にお時間をいただいておりますが、もうワンステージ上げていくのも必要かと思っております。またその時には、率先してご協力をお願いしたいと思っております。

《質問・意見》

防災のことで市の方と調整していただきたい。避難場所の見直しのご指導について、自治会長からの要望した場所が適用されないことについて、理由も付されて回答いただきました。現実に災害が起きたとき、高齢化が進んでいる中で少しでも近いところに避難したい。

そんな中で、伊勢市が示していただいた避難場所、岡本は明倫小学校と観光文化会館が一番近い避難場所ですが、公の施設で高い建物、県の庁舎、裁判所が有り、他にも民間の建物で第三銀行、百五銀行等があります。

自助、共助の中、平屋・二階建てとある中で、隣同士の助け合いのときに民間の避難できるような場所を高齢者へ、特に避難するまでの経路をスムーズに行けるような方法を考えていただきたい。

勢田川を改修していただいて、洪水のことについてかなり不安は解消できましたが、記録的な大雨を体験すると勢田川の水位が上がり、ちゃぷちゃぷとしてくるので、地域の方はヒヤヒヤ、ドキドキです。水害についても避難場所をそういったところが協力していただけると安心感が高まります。共助について、安心できる構造の建物の所有者の方に協力してもらえばいいと思うので、よろしく願いしたい。

《回答》

(危機管理課)

まず最初に、自治会避難場所についてご要望いただいた件について、こちらから回答させていただいた件については、津波に対しての民間施設の利用についてだと思います。

今、挙げていただいた所は、裁判所・銀行ですが、個人情報保護の観点から、そこに非常時とはいえ、一般の方々が避難するという事は非常に難しいということでした。

本当に大きな地震、津波が来るということであれば、そういう事は言っておれませんので「どうぞ入って下さい。」ということになるかと思われませんが、予め「いつでも来てもらっていいですよ」という施設には、なかなかしづらいというのが、それぞれの考えです。

同じように、ホテルについても「一般の方が有料で宿泊されているところに、皆さんいつでもどうぞというのはなかなかしづらい」と言われています。

民間のマンションについても、「それぞれ分譲されて入っているプライベート空間ですので、事前にいつでも来て下さい。ということは難しい」との回答をいただいています。

いろいろ回らせていただく中、快く引き受けていただける所がなかなか無い、というのが現状です。

ただ、いざとなった場合には、「もちろん来ていただいてかまわない」と言われています。

そういったことを念頭に置きながら、実際に災害が起きたときには駆け込んでいただける、受けていただけると考えていただけたらと思います。

勢田川の大雨で水位が上がってくることに對しての不安ですが、警報が出ている際には災害対策本部を開いており、それぞれの川の水位を把握して、早めに避難の呼びかけが出来るよう対策をとっております。情報を早く発信するので、それによって早目の避難をしていただきたいと思います。よろしく願いします。

《質問・意見》

観光であっても、安全安心が全てのベースとなっております。

明倫地区は4,000世帯あり、人口は9,000人います。ですが、ここにおられるのは15名です。他の地区もそうかもしれませんが、明倫地区も比較的入りづらい土壌をもっており、現実問題として捉えなければいけません。

私は防災、防犯、交通安全、三つの柱に着手しているグループに属していますが、例えば今、中居課長が言われた民間のマンション云々ですが、本当にその理事長と話したら「うん」と言いますよ。

例えば吹上町の場合、丸美ロイヤル1と3がありますが、岩渕の方にもNo.4、他にも丸二1と2があり、ホテルも含めたら相当4階以上のところがあります。

本当に地域と連携、シェイクハンドするのであれば、市の問題でもあるが、各自治会が自分の地域の足元のマンションと話し合いすることはできないのか。

もちろん行政に手伝っていただくことはいいのですが、自治会で進めることもできるのではないかと思います。

私は、丸二ロイヤルの理事長と話をしていますが、命の問題ですから、隣保26世帯どこに逃げるかということも話しています。丸二はすぐそばにあります。話の仕方によっては「うん」と言っただけです。ところが批判するわけではないですが、中居課長の話ではあまり、いい返事はいただけないということでした。自治会もみんな巻き込んで、高所の避難タワー、避難ビルになるような高い建物に対してアプローチされたらいいのではないのでしょうか。

《回答》

(危機管理課)

ありがとうございます。そこまでお話をさせていただかなかったのですが、実際に回らせていただくと「既に、自治会とはお話をさせてもらっています。ですが、行政と協定を結ぶとなると公になってしまうので、お客さんの手前、入っていただいている住民の方の手前、なかなか難しい」と言われます。

今言っただいたように、地域のつながりの中で進めていただくと、比較的話が進みやすいのかなという事は感じておるのですが、なかなか私どもでは話を進めにくいというのが現状です。

《質問・意見》

私が申し上げたいのは、市の方で頑張っていただくのもありがたいのですが、私達自身も、もっと動かなければいけないのではないのか、という意味で発言させていただきました。

現に町会の加入率、あるところは「10パーセント入っていない」とか、吹上町は残念ながら加入率70パーセントです。700世帯あって町会に入っているのは、500世帯です。大変恥ずかしいが30パーセントは入っていない。けれども70パーセントは入っているのです。その中でくどいようですが、丸二ロイヤルホテルは1棟と3棟の二つ持っているのです。

ここを建てるときに、私は「地域で環境を守る会」というのを作り、ゼネコンと交渉しました。何を交渉したか、いろいろとあったのですが、入居者全て吹上町会に入っただけという一筆を取りました。我々地域の問題として4~5人が立ち上がってやったのですが、ロイヤルマンション1と3については全員町会に入っています。

町会の話、絆みたいなものを訴えながらやっていけば、大変失礼ですが市よりもできるんじゃないかなと思います。まず、自分たちが動かないといかんです。

《回答》

ありがとうございます。

いろいろと成功事例であると思うので、またご指導頂いて、逆に他に困っている地域の方々の参考にさせて頂ける時もあると思いますので、よろしくお願ひします。

《質問・意見》

今、お話の流れの件で、明倫学区なのですが、うちは厚生学区でビジネスホテルをさせて頂いておまして、先般の何かあった時に協定をという話を聞かせて頂きました。

先程言われた、自分らで動くという意味におきまして、行政の職員の方、一生懸命やっけて頂いてる中で、自分らも一生懸命やっけていかなイカンかなっていう中で、まず個人の立場で言いますと、行政にお願いしたいのは、そういう避難する時にマンションと一緒に考えると誤解があると思いますが、例えばうちのようないきなホテルでしたら、当然逃げて来て頂いて良いという協定を結ばせて頂いて、まず問題無いんですね。

できましたら行政にお願いしたいのは、来てもらった時に、せめて電気代とか何か協定結んだ時に、電気代とか最低限いるものは、後でも良いから出しますよ。協定の中身を具体的に提案して頂いて、例えば一泊泊まる分だけ出せなんていう話では無いと思います。

みんなで助け合うという事ですので、最低限のランニングコストはそういう場合でしたらどうなるのか、という事を決めて頂ければ、決めてなくてもいざとなればまずオッケーです。

来て頂いて問題ないものですから、そういう事を決めて頂けるとすごく良いのかなと。

あともう1個、それに関連して言いますと、こちらのおもてなしとかバリアフリーという中で、バリアフリー控除の事でうちもお世話になっていますが、今現在50%という事で、先程市長が成功例は50%が何百万も出している所が結果的に良くなっているだけで大多数が実はそんなに半分も出せません。これも成功例の逆の成功しない中の理由です。それでは全部出してくれという事を言いたい訳ではありませんが、もし何かあった時に来て下さいという中でバリアフリー控除をより良く、現在50%で100%とは言いませんが、具体的には何百万か出すと先程市長が言われたような良いという結果が出ますので、その2分の1の何百万か正直出せないですね。

ですからパーセンテージを上げるなり、避難した時には最低限要る分に関しては限りなく100%に近いようにする代わりに来て下さい、という方法論です。いろんな事業と組み合わせを考えて頂くと良いかなと。

スポーツ誘客云々と言いますのも、私ずっとテニスしていますけれども、市長は私より年齢的にだいぶ下ですね。

私が小学校の時のテニスの全国大会があった当時、ご存知ないかもしれませんが、同じ全国大会の規模が今と比べてものすごく多かったですよね。

日本全国で言いますと、なぜ無くなっていくか行った人の意見を聞きましたけど、駅を降りた時に、例えば電車やバスで来た時に町全体がすごく歓迎してくれる雰囲気のある所に行くっていうのを以前聞きました。

世界大会ができる金華山でやった時に行きましたけど、タクシーの運転手さんすらそういう事をやっている事が、もうひとつわからなかった。

その話をまとめますと、昔は伊勢市駅から本通りをパレードしたっていうのですね、参加してくれた人やテニスのメンバーが。

なぜ止めたかって言うと、当時はおもてなしで回りにバナーって飾りがあって、まわりの人が来てくれたっていう。まさしく市民のおもてなし歓迎等、それやっていたら歩かないとイカンかなっていう雰囲気はだんだん無くなってきたっていう、市長があまりお金をかけなくていい事すらやっていないので、そこら辺を各地域のみらい会議、今年度所属させてもらっている市民会議の方で提案させて頂けると、今日はあまり時間が無いと思いますので、明倫地区のまちづくり協議会とか市民会議から提案させて頂いた時に、協議への行政の方々がどうしてくれっていう要望ではなくて、一緒に考えて頂ける場があればお金をかけずにすごく良くできるのかなと思いますので、そういう事も頭の片隅に置いてもらえたらと思います。

《回答》

わかりました。ありがとうございます。

《質問・意見》

市長のお話を聞きまして、6つありますが、まず1つは援護者の件です。今度、市長のご配慮で個人情報も流せるようになりましたが、疑問だったのが、助けてほしいって言っているおじいちゃんおばあちゃんの情報を渡せないって民生委員さんの方から言われたのです。

それで、助けてほしいのに、なんでおばあちゃんの個人情報で流せないって言うのやろ？それなら助けなくて良いっていう事になったのです。

だから助けてほしいなら、この人はこういう家庭環境で両親や親族はいない。その代わり連絡するのは、この人とこの人っていう事を渡すのは当たり前やっという事があったのです、それは出来る事になったので良いです。

正直言いますと、民生委員でははっきり言って助ける事は出来ません。

ですから私は自治会も巻き込めっていう話をしていましたが、それもなかなか民生委員さんの方から自治会は自治会の仕事があるからダメやっという事で。

民生委員は自治会長から任命されるのですよね。あなたが民生委員をやってくださいと。

ですから、地域の倉田山学区でしたら倉田山の民生委員の会長さんも自治会長さんがアカンって言ったら代わるのですよ。そういう所がすごく疑問です。

そこを何とかしてほしいっていうのが1点あります。

それと同時に高齢者の場合、玄関と冷蔵庫に黄色いワッペンがあって、その中にいろんな情報があるのは賛成ですが、玄関に貼るのは反対です。

開けて分かるような所に貼っていて、おかしい人が来た時に高齢者の1人暮らしっていう事でわかってしまいますよね。

市長の方から家に入って冷蔵庫にワッペンがあったら情報があるという事で、ワッペンがあるかどうかを見なさいという指示を出してもらえれば、何も玄関に情報を貼る必要は無い、という事を考えてほしいです。

2点目は元気な高齢者があちこちにみえて、そういう方々に統廃合で廃校になった所を

活用してもらえるように考えてほしい。

自分の趣味を生かしながら、有意義な人生を送れるように。介護施設で介護してもらっている人は子供達と接触できる場所作りを考えてほしい。

今、伊勢市の健康課ではリフレッシュクラブがあり、歌って踊ってという事で月曜の午前と午後、金曜の午前と午後にあります。いっぱいの人で正直言って体操する場所が無いくらいです。

1回試しに行ってみて下さい。10時から11時半までです。介護部長の山本さんが3人目で初めて来てくれました。

リフレッシュクラブで、あまりにもえらくて前半でバテていましたが。それと課長さんと大久保さんに行ってもらいましたら、翌日痛いって言ってました。それだけの体操をしているのです。

そんな状態でもおじいちゃんおばあちゃん達は生き生きしているので、後でも言いますが、これは介護予防になるのですよ。

そういう形なので、市長にも行ってもらって、こんなに楽しい、歌って踊っての体操をしている事をご理解頂きたいです。

4点目は市民病院の件ですが、市民病院を育てるのは伊勢市民だと思います。

伊勢市民がよその病院、日赤が出来たから日赤が良いと言って市民病院の他に行っているのはおかしい。私はこの前、老人健診で便潜血でひっかかりました。それと翌年は肺のレントゲンでひっかかりましたが、ぜんぶ市民病院です。市民病院に入院しました。

その時に便潜血で大腸を検査した時の写真をくれなかったの、私がほしいって言った時に、看護師さんがこれはあきませんっていう話になって、おかしいじゃないかって言ったら、担当医さんがなんでイカンのやって言って、コピーをくれました。

私が言ったのでコピーをくれたのですが、自分の写真でそういう事は言われなくても患者にあげて、セカンドオピニオンとかサードオピニオンもあるので検査できるような形にして欲しい。

それと伊勢病院ですが、血圧計が新しくなりましたが、この血圧計がもっと利用できるような形にしてほしい。

血圧計を利用しに行くと、幹部の方が玄関に立って案内してみえる、そんな病院他にありませんわ。

そういう良い所をもっともっとPRしていても良いと思います。

介護費用の削減、伊勢市民は100億で、市の持ち出しが約12%ですから10億ちょっとありますね。それはもったいないと思います。

介護のお金よりは乳幼児、子供達の所へ持っていった方が良いでしょう。

その為には、介護予防に力を入れて、介護にかかる費用を少なくするように考えてほしいと思います。これが5点目です。

6点目はジェネリックについてですが、ジェネリックは正直言って反対です。

昔、私は医薬品会社にて、横文字でジェネリックっていいですが、昔はゾロ薬品って言うていました。

電子辞書を見ても、ジェネリックはゾロ薬品って書いてありますので見て下さい。それをイカンとは言わないけれど、ジェネリックを使って良いものと、イカンっていう薬があ

るのです。イカンっていうのはどういうのかっていうと、血液製剤とか抗生物質とか血圧とかです。普通薬ならいいのです。一般市民の方はご存知ないもので、区別するようにしたら良いと思います。

《回答》

わかりました。ありがとうございます。

《質問・意見》

避難所の市民の自治会の活動は大賛成で結構なのですが、市も避難所に提供したら、建てる時の税金も安く出来るっていう、ギブアンドテイクですよ。やるっていう事が大事なのです。

自治会も大事ですが、市も出来る事でゼロにしろとは言いませんが、それを建てて避難所にしたらいくらかかるかを、その10%は安くしようとか、そういう計算をして、有意義な、結局市民にとって良い事は何かという事を考えて、市税が安くなる少なくなるっていう事はマイナスですが、良い点があるならみんなも理解できます。それをみんなで考えていく事が大事だと思います。

それと逆に、ふるさと納税というのがありますが、米子では3,000万が8,000万になったそうで、それは何故か？それは各業者さんにタダ券を出して頂く。

100万円なら1,000円の券を出すというように、業者にとっては宣伝になるので、それを取り寄せようかという形でやっていって、そうして3,000万が、同じ出すなら見返りもあつた方が良いなあって市民も思っているのです。

そうやって、市税を上げていく努力はしていただいていた方がいいと思うのです。

それともう一つ、白石持ちで中に入って頂く、100万円納税して頂いたら中に入って頂くっていう伊勢神宮がらみで、ふるさと納税を増やすと良いのではと思います。経済的な事も考えてほしいです。これは市では出来ないって事もあるかと思いますが、市の良いようにやっていって下さい。

《回答》

貴重なご意見ありがとうございます。

長時間ありがとうございます。

最長記録、ご意見も最多でした。今日いただいたご意見だけでも、3つ4つはすぐかどうかわかりませんが、改善できるポイントも出てきたように思います。避難所のギブアンドテイクの話などわかりやすかったと思います。

防災のみならず、観光・教育でも、ややもすれば勝手なお願いをすることが多いですが、ギブアンドテイクの観点をもって、取り組むことも必要と思っています。各地域でいただいたご意見を市政に反映していきたいと考えています。